

ローラ・ジェーン・ピンチャー

プロフィール

イギリスの中部ウォルソール市出身の22歳。今年7月に卒業した同国のリーズ大学では日本語を専攻し、2013年9月から約10カ月、東京都内の大学に留学していた経験もあります。日常会話は日本語で話すことができ、漢字も1000字程度読み書きすることができます。



国際交流員

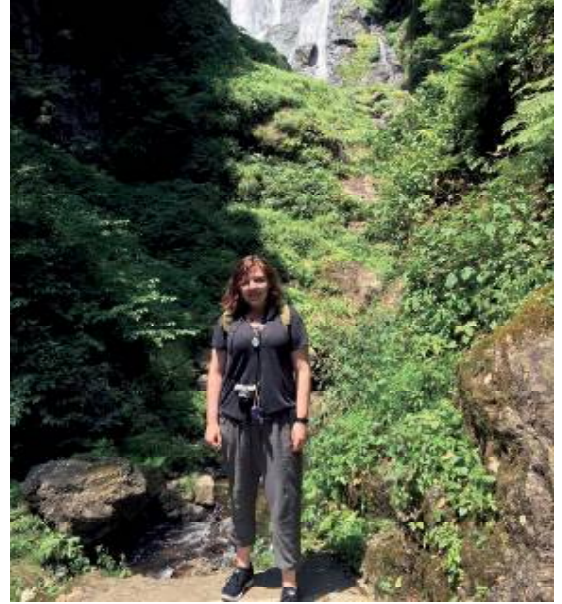
昭和62年8月から、地方自治体が総務省、外務省、文部科学省および一般財団法人自治体国際化協会(クリア)と連携して実施している「語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)」で招致されたものです。国際交流員の任期は1年ですが、最大5年までの再任も可能です。



進む真庭の国際化

～国際交流員 ローラが行く～

8月から、真庭市初の国際交流員として、ローラ・ジェーン・ピンチャーさんが勤務しています。今回はローラさんと一緒に、国際交流活動を続けているロータリークラブや真庭の魅力の世界に発信する拠点となるインターナショナルシェアハウス・照ラスで取り組まれている活動などについてお話を聞いていきます。



ローラさんからのメッセージ / Message from the laura

真庭の皆さん、こんにちは。市役所で国際交流員として仕事をさせていただいているローラ・ジェーン・ピンチャーです。私のことは、『ローラ』と呼んでください。真庭に来てから、もう2カ月になりますが、まだ行ってないところもたくさんあります。田舎のほう不方便だとよく言われていますが、今は車もありますし、スーパーマーケットなども近くにあり、困ることもほとんどありません。それに、周りの皆さんが親切で困ったことがあったらすぐに助けてくれるので、ありがたく思っています。これからも、真庭のことを知って、真庭の魅力をできるだけ世界へ発信するために頑張りたいと思っています。そして、真庭の皆さんにもイギリスのことを伝えていけたらうれしいです。10月2日の英国フェアなどのイベントにも参加させていただきますので、皆さんと会ってお話ができればと思います。これからもよろしく願いいたします。

Hello, Maniwa's citizens. My name is Laura, and I am currently working at the city office as a Coordinator for International Relations. It has already been two months since I arrived in Maniwa and there are still many things I don't yet know about the city. I was often warned that the countryside is more inconvenient but so far I've managed to get a car and shops and so on are pretty close to my house so I haven't run into any problems. And if I do, I know that everyone will come and help me because they're all so lovely. I hope I can repay this by helping to promote Maniwa and its charms to the world - and if I can teach you all even a little bit about the UK I will be very happy. I'll be attending events such as the British fair on the 2nd October and hope to meet you there and talk to you and get to know you all better. Best Wishes!



子どもたちに国際感覚を

真庭では、どんな国際交流活動が行われているのでしょうか。外国人留学生と小学生との交流会や英語スピーチコンテストを開催している、真庭ロータリークラブの長尾和彦会長に、ローラさんがお話を伺いました。

ローラ 長尾さん初めまして。今日は、真庭ロータリークラブで取り組まれている、国際交流のことについてお話を聞かせください。

長尾 初めまして。こちらこそ、よろしくお願ひします。ところでローラさん、ロータリークラブってどんな団体か知っていますか。

ローラ 名前は聞いたことがありますが、あまりよく知りません。どんな団体ですか。

長尾 ロータリークラブは、一言でいえば奉仕クラブです。現在、世界の200以上の国や地域に3万以上のクラブがあります。日本にも全国

に2千以上のクラブがあります。もちろん、イギリスにもあるんですよ。

ローラ そんなにたくさんあるんですね。知りませんでした。それで、どのような活動をされているのですか。

長尾 真庭ロータリークラブは、「クラブ奉仕」「職業奉仕」「社会奉仕」そして、「国際奉仕」という4つの奉仕活動を中心に活動していますが、特に力を入れているのが「国際奉仕」です。子どもたちに国際感覚を養ってもらおうと、毎年7月の連休に岡山大学の留学生を招いて、市内の小規模校で交流会を行っています。



真庭ロータリークラブ会長
長尾和彦さん(勝山)



カメラの前ではしゃぐ留学生

す。また、真庭市と新庄村の中高生の「英語の表現力向上」や「世界で通用する人材の育成」を目指し、毎年文化の日に英語スピーチコンテストを開催しています。

ローラ そうなんです。いいですね。今年の交流会は、どこの学校で開催したんですか。留学生はどこから。

長尾 今年は月田小学校で開催しました。留学生は、日本語や日本文化を学んでいるアメリカやオーストラリア、ベトナム、マレーシアといった7カ国から11人。岡山大学に

は中国や韓国からの留学生が多く、例年参加者のほとんどを占めていたんですが、今年はあらかじめ大学に、できるだけ多くの地域の学生に参加して欲しいとお願ひしたところ、先生方が様々な地域の生徒に直接あたってくださいたらしく、例年より多くの地域からの参加をいただくことができました。

ローラ 子どもたちとは、どんなことをして交流をしたのですか。

長尾 書道や百人一首、こま回しなどで交流を深めました。昔からある日本の遊びということで、留学生たちも大変喜んでくれましたよ。それに、この活動はただ小学生と交流するだけではなく、留学生たちは、真庭の家庭でホームステイをします。そこで真庭の文化を、肌で感じてもらうことも目的のひとつです。

ローラ 多くの留学生と触れ合うことができ、子どもたちもいい体験ができたでしょうね。私もこれから、子どもたちとたくさん交流したいと思っています。

長尾 それならいい機会がありますよ。英語スピーチコン



昨年行われた英語スピーチコンテストでの集合写真

テストを今年も11月に開催しますので、ローラさんに審査員をお願いしたのですが、いかがですか。毎年30人ほどの生徒が応募してくれます。このコンテストに参加する生徒は、熱心に英語を勉強しているし、年齢も近いローラさんとぜひ交流したいはずですよ。どうでしょうか。

ローラ ありがとうございます。子どもたちと交流できるのを

楽しみにしています。

長尾 ローラさんは日本語が本当にお上手ですね。なぜ日本語を勉強しようと思ったのですか。また、いつ頃から勉強し始めたのですか。

ローラ 高校生からです。高校の授業の必須科目に日本語があつたのもありますが、元々、日本や日本の文化に興味があつたので勉強を始めました。日本にも10カ月留学していたことがあるんです。

長尾 そうなんです。短期間でここまで上達して、本当にすごいですね。ところで、ローラさんには国際交流員としての任期はあるんですか。

ローラ 任期は1年で、最長5年まで更新できます。

長尾 1年だけではもったいないので、ぜひ3年は頑張ってください。

ローラ 私はできれば5年居たいと思っていますよ。

長尾 ありがとうございます。せっかく真庭に来られたんだから、いろんなことを吸収していつってください。私たちも協力します。

ローラ はい。私もいろいろなことを経験したいと思っていて、今からとても楽しみにしています。がんばります。長尾さん、今日はお忙しい中ありがとうございます。





地域と世界をつなげる拠点

地域おこし協力隊の姜 侖秀^{かん りん す}さんが、ふるさと納税を活用した資金調達で下中津井の空き家を改修・整備した「インターナショナルシェアハウス・照ラス」。姜さんに、利用が始まったシェアハウスについてと滞在中のお二人についてのお話を伺いました。

地域と世界をつなぐため これからも頑張ります

現在、留学やワーキングホリデーなどにより日本に長期滞在している海外の若者が、約30万人もいます。彼らが知りたい、触れたいのは、「観光地として用意された日本」ではなく、「昔から受け継がれてきた日本」です。しかし、そうした日本らしさの残る地域での生活情報が不足しているため、彼らの大部分は都市圏にししか住むことができません。そこで、真庭に「外国人のための田舎暮らし」の情報発信拠点となり、滞在する住人と一緒に「真庭に眠っている資源」を発掘していけるよ



真庭市地域おこし協力隊
姜 侖秀^{かん りん す}さん

うな「多国籍のシェアハウス」を開設したいとずっと考えていました。そうして、今回皆さんに多大なご協力いただいたのでオープンすることができたのが、この「インターナショナルシェアハウス・照ラス」です。

改修のための資金調達には「クラウドファンディング官民連携事業」を活用させていただき、全国の皆さんから442万8000円の寄附をいただくことができました。皆さん本当にありがとうございました。皆さまには、お礼として北房地



域のお母さんたちと一緒に作ったキムチなどをお送りさせていただきました。

利用者の声



ジョン ホキンスさん(22) アメリカ出身
(美術家、イラストレーター)
滞在期間：9/6～21

私は日本が大好きで、今回の訪日は3回目です。真庭には初めて来ましたが、自然に囲まれた美しい場所だと思っています。こういったシェアハウスがあるのは、長期で滞在するにはとても助かります。大学では美術を専攻していたので、地域の親子を対象にした絵描き教室を開催させていただきました。機会があれば、また真庭に来たいと思います。



アクセル ティアランさん(28) フランス出身
(交通工学エンジニア、自転車専門家)
滞在期間：8/26～ ※最短3カ月以上

今年の6月からワーキングホリデーを利用して、日本にきています。もちろん今度は飛行機で。真庭には8月からお世話になっていますが、とてもいいところですね。シェアハウスも楽しく生活させてもらっています。真庭には、自転車で走りたくくなるような素敵な場所がたくさんあります。皆さんと新しいサイクリングコースを作りたいです。

シェアハウスというのは長期滞在を目的とした新しいカタチの賃貸住宅ですが、「照らす」は誰でも受け入れるのではなく、長期滞在しながら真庭の情報発信ができる若者やアーティストを受け入れることにしています。きちんと入居者を選ぶことで、地域の方にも安心してもらえるのではないかと考えています。「照らす」は同時に7名ほどの入居者の受け入れが可能ですが、海外からの利用者だけでなく地域おこしに興味のある日本の方も受け入れていきたいと思っています。



アメリカ人のジョンさんとフランス人のアクセルさんです。ジョンさんは大学の卒業旅行を兼ねて日本にきているアーティスト。先日は、北房地区の親子を対象に、指を絵筆の代わりにして絵を描く

「お絵描き教室」を開催してもらいました。アクセルさんは、交通工学を専門としたエンジニア。自転車道を作る側の目線を持つ人材でもあり、フランスと日本を自転車で行った経験を持つ強者です。北房地区や真庭市のサイクリングコースづくりに興味を持っていて、先日、北房地区で開催された異業種交流会では、アクセルさんが考えた中津井のサイクリングコースが発表されました。

また、二人は地域の人たちに教えてもらいながら「照らす」周辺の耕作放棄地を、畑に戻すことにも熱心に取り組んでいて、この畑が地域の人



とシェアハウスをまた一歩近づけてくれたように思います。今後も、入居者と地域をつなぎ、真庭の魅力を世界に発信していけるような活動を続けていきたいと思っています。



ローラさんが真庭での出来事や魅力などをPRしているフェイスブックのページです。全文英語で書かれていますが、皆さんぜひのぞいてみてください。

Let's study English!!



スマホからはこちら